

1-09 ロウイング（漕艇）とは何か？

1 ロウイング・漕艇・ボート

●ロウは英語で row、「漕ぐ」ということです。 rowingとは、ボートを漕ぐことで、漕艇（そうてい）、ボート、競漕（きょうそう）などとも呼ばれます。ひとつの艇に乗る仲間を、クルー（crew）と呼び、漕手（そうしゅ）と舵手（だしゅ；コックス）で構成されます。漕手は漕ぐ人、舵手は舵（ラダー）の操作と漕手への指示を担当します。舵手のいない艇もあります。

2 競漕艇（ボート）

●競技スポーツとしてのロウイング（競漕、漕艇）で使われる一般的なボートは、船体が卵の殻のように丸く薄いこといからシェルともいいます。安定の良いナックルというタイプもあります。公園のボートとの違いは、「座席が前後に動き、脚力を利用して漕ぐ」ことです。また、競漕艇は、まっすぐ速く進むことを目的としているので、軽量で細長くなっていて、オール支点となるオールロックは、舷側（げんそく、ふなべり、ガンネル）から張りだした「リガー」にとりつけられています。

3 オール

●オールには2つのタイプがあります。スイープ（sweep）は漕手一人が1本のオールで艇の片側を受け持って漕ぐタイプ、スカル（scull）は漕手一人が2本のオールを持ち両側を漕ぐタイプです。

●動作やボート構造の対称性により、スカルのほうがスイープよりも高速になります。

●スイープとスカルは、オールの種類の呼び名ですが、そのオールを使う艇の種類の呼び方としても使われます。ただの「オール」は、両方含めての意味ですが、狭い意味での「スイープ」を差すこともあります。

4 ボートの種類（種目）

●現在、競漕用のボートには、一人乗りのシングルスカル（全長約8m、重さ14kg以上）から8人で漕ぎコックスが乗るエイト（全長16m、重さ96kg以上）まで、漕手の数、スイープとスカルの別、舵手の有無などで8つの種類があります。

●その他に市民レガッタなどで用いられる、安定の良いナックルフォアもあります。

●パラロウイング種目の中で、視覚障害者が乗る種目としては、男女混成の舵手つきフォア（MixLTA4+）があります。

5 レース

●ボートの競漕は、普通は直線コースで、分離されたレーンで数艇が競漕します。国際レースは2000mですが、アダプティブ種目や、国内の国体や高校生の大会などは1000mです。そのほかに、冬季にはヘッドオブザリバーレースといって、長距離を漕ぐレースもあります。